

D3センター教授会 議事要録

日 時： 令和7年7月24日（木） 15：47～17：12

場 所： オンライン開催（Teams）

出席者： 降旗センター長、猪俣教授、岩居教授、浦西教授、岸本教授、下西教授、伊達教授、長原教授、春本教授、村田教授、八木特任教授（常勤）、吉野教授

欠席者： 櫻井教授、鎗水教授

議事に先立ち、前回の教授会議事要録（案）の確認があり、これを承認した。

議 題

（審議事項）

1. 「知能情報基盤研究部門」准教授の選考について

標記のことについて、資料1-1、1-2に基づき、選考経過、履歴、業績等の説明があり、審議の結果、候補者を採用することを承認した。なお、任期は令和12年9月30日までとすることについて、併せて承認した。

2. 特任教員の採用について

標記のことについて、資料2-1、2-2に基づき、履歴、業績等の説明があり、審議の結果、令和8年4月1日付で知能情報基盤研究部門特任准教授（常勤）として採用することを承認した。なお、任期は令和9年3月31日までとすることについて、併せて承認した。

続いて、資料2-1、2-3に基づき、履歴、業績等の説明があり、審議の結果、令和7年10月1日付で知能情報基盤研究部門特任助教（常勤）として採用することを承認した。なお、任期は令和8年3月31日までとすることについて、併せて承認した。

3. 特任教員の雇用契約更新について

標記のことについて、資料3に基づき説明があり、続いて受け入れ教員から、特任教員の業績等について説明があった。審議の結果、令和7年10月1日付及び令和7年11月1日付の雇用契約更新を承認した。

4. 特任研究員の雇用契約更新について

65歳を超える特任研究員の雇用契約更新について、資料4に基づき、当該者の健康状態等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

5. 招へい教員等の受入れについて

標記のことについて、資料5に基づき説明があり、審議の結果、新規受入れ2件を承認した。また、既に承認済みの6件について、担当時間数に訂正がある旨の説明があり、併せて修正を承認した。

6. 共同研究の受入れについて

標記のことについて、資料6に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

7. 学際共創プロジェクトについて

標記のことについて、資料7-1、7-2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

(報告事項)

1. 各種委員会報告について

(1) 学外会議等

- ① 国立大学共同利用・共同研究拠点協議会総会（7月4日）
- ② 学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点運営委員会（7月10日）

(2) 学内委員会

- ① 図書館委員会（7月4日）
- ② 教育課程委員会（7月4日）
- ③ 吹田地区事業場安全衛生委員会（7月4日）
- ④ 総合学術博物館運営委員会（7月7日）
- ⑤ ダイバーシティ&インクルージョンセンター会議（7月8日）
- ⑥ 理工情報系オナー大学院プログラム教務委員会（7月9日）
 - ・9月16日に開催される共同研究講座・協働研究所交流会について、案内があった。
 - ・インド若手頭脳循環プログラムについて、報告があった。
- ⑦ 学術研究機構会議（7月16日）
- ⑧ 理工情報系戦略会議（7月16日）
- ⑨ 理工情報系オナー大学院プログラム運営委員会（7月16日）
- ⑩ 教育研究評議会（7月16日）
 - ・教員の業績登録の徹底について、依頼があった。
 - ・令和7年度コンプライアンス研修（e-learning）及び「公的研究費の取扱いに関する理解度チェック」の実施について、報告があった。
 - ・7月25日に開催されるJST創発的研究支援事業の学内説明会について、案内があった。
- ⑪ 吹田地区箕面地区合同部局長会議（7月16日）
- ⑫ 豊中地区事業場安全衛生委員会（7月18日）
- ⑬ 豊中地区部局長会議（7月22日）
- ⑭ 情報推進本部協議会（7月23日）

(3) センター内委員会

- ① 研究倫理審査委員会（6月19日）
 - ・研究倫理審査済の研究において、研究計画に変更が生じない「研究期間の変更」と「研究実施分担者の変更」については、今後は届出で受理する旨説明があった。

2. 兼業について

標記のことについて、資料25に基づき、報告があった。

3. 総長・理事等による部局運営方針等ヒアリングについて

標記のことについて、資料26に基づき、報告があった。

4. 令和6年度部局アクションプラン「『全学的に重視する指標』の数値目標」に対する取組状況等について

標記のことについて、資料27に基づき、報告があった。

5. 令和8年度概算要求について

標記のことについて、資料28-1～28-3に基づき、報告があった。

6. 令和6年度ストレスチェック集団分析結果について
標記のことについて、資料29に基づき、報告があった。
7. スーパーコンピューティングコンテストについて
標記のことについて、資料30に基づき、報告があった。
8. 「AkaiKKR講習会-高性能計算・データ分析基盤システム SQUIDを用いたハンズオン-」の共催について
標記のことについて、資料31に基づき、報告があった。
9. 「レーザー加工の理解と解析に向けたSALMON 利用法講習会-高性能計算・データ分析基盤システム SQUID を用いた応用計算ハンズオン-」の共催について
標記のことについて、資料32に基づき、報告があった。
10. SC2025出展について
標記のことについて、資料33に基づき、報告があった。
11. 次世代HPC・AI開発支援センター（仮称）事業への協力のお願について
標記のことについて、資料34に基づき、当センターが協力機関として本事業に参加する旨、報告があった。
12. その他
 - (1) 大学DXセミナー/標準デジタル学生証実証について
標記のことについて、資料35に基づき、報告があった。なお、同日に開催される高校生を対象としたイベント「情報科学の達人」において、担当教員より同セミナーの様子を見学したい旨の要望があり、今後検討することとした。
また、大阪大学が日本DX大賞2025「業務変革部門」で大賞を受賞した旨の報告があった。
 - (2) D3センターの業務報告について
標記のことについて、各部門から、報告があった。
 - ・先端ネットワーク環境研究部門から、D3センター内ドメイン・ネットワークの運用に向けたWGによる調査について、研究部門に質問票を送付する予定である旨の報告があった。
 - ・サイバーメディア教育研究部門から、AXIES2025への出展について報告があり、当センターとして出展を進めることを確認した。
 - (3) その他
 - ・科研費応募について、センター内の申請締切の案内があった。

◎次回開催予定日 令和7年9月25日（木）